



矢場川

令和2年9月1日
矢場川小学校
学校だより第8号
文責 尾花 久

〈学校教育目標〉 1 進んで学ぶ子 2 やりぬく子 3 思いやりのある子

猛暑の中で始まった第2学期も2週間が過ぎ、いよいよ9月です。最初の1週間、最高気温が40度近くなるなか、子どもたちは、果たして学校生活を無事に送ることができるのだろうかという不安の中でのスタートでした。しかし、子どもたちは暑さに負けず、授業中、体調を崩してしまうことも少なく、いわゆるコロナ禍の制限された生活のなかでも、「新しい生活様式」において「自分から学ぶ」姿勢で、毎時間の学習に、一生懸命取り組むことができます。子どもたちの適応能力のすばらしさを日々感じ、制限事項の多いなか、しかも、暑さ厳しいなか、よくがんばっていると思います。教職員も、子どもたちの体調管理に十分気を付けながら、一人一人に寄り添った指導に取り組んでいます。保護者の皆様



には、毎朝の健康観察や検温等で大変お世話になっていま

す。「暑さ寒さも彼岸まで」という言葉がありますが、21日(月)の敬老の日をはさみ、19日(土)から22日(火・秋分の日)まで4連休となります。楽しい4連休を過ごしてほしいと思います。

9月後半もどうぞよろしくお願いします。

— 保護者教育相談、お世話になりました。 —

8月18日(火)から27日(木)まで行われた保護者教育相談では、大変お世話になりました。昨年度までは家庭訪問を実施していましたが、それに代わり、今年度から、保護者の皆様に学校へ来ていただいていた教育相談という形で実施しました。本来なら6月はじめに実施する予定でしたが、学校休業のため、2学期が始まった8月に実施いたしました。今年度、保護者の皆様と担任が話し合う機会は今回が初めてということで、学校生活と家庭生活の子どもたちの様子等について話し合う、とても貴重な機会となりました。大変お世話になりました。



さて、昨年度から申し上げてきましたが、今年度から小学校新学習指導要領完全実施となりました。「主体的・対話的で深い学び」というのが、キーワードとなっています。既に実施していることですが、改めて確認させていただきます。

小学校の授業は45分間の中で、本時のめあてを設定し、そのめあてを達成するために、様々な活動をし、最後に授業の振り返りをしながら、教師や子どもが自身が達成状況を確認し、次時の授業に活かしていきます。様々な活動を通して、子どもたちがより思考を深めるような授業を実践するようにしています。でもそれは、難しいことを要求しているのではなく、「聴く」「訊(き)く」「伝える」力を向上させるものだと思います。例えば、具体的には次のようなことです。



- ★「話し合い」で自分の言葉で最後まで伝える。
- ★相手に聞こえる声の大きさと話す。(ペア、グループ、全体)
- ★答えを出すだけでなく、答えを導いた過程を詳しく説明する。
- ★発表した児童の内容をよく聴き、自分でも説明できるようにする。

★分からないことは、教師や友達に進んで訊く(きく)ようにする。

★自分の考えをノートに書く。等

以上のようなことを、子どもたち一人一人ができるよう、指導しています。自分の意見を発表するとき、聴いているみんなが理解できなければ、考えを伝えられたことにはなりません。発表する子どもも、発表を聴く子どもも、自分のこととして「自分から学ぶ」ことができるよう指導していきます。子どもたちが「自信をもって、はっきりとした声で相手を納得させ、説明できる能力」を各学年とも、発達段階に応じて付けていくよう指導してきたいと思っています。

現在のコロナ禍の新しい生活様式の中で、まだ、制限されている活動もありますが、子どもたちが少しでも生き生きと学習活動に取り組むことができるよう、工夫しながら、指導してきます。保護者の皆様のご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

職員の紹介

新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、子どもたちの学びを保障するために必要な人的体制等の強化についての支援ということで、学習指導員1名及びスクールサポートスタッフ1名が、9月より3月まで本校に勤務することになりましたので紹介します。

学習指導員 鈴木 敬子(すずき・けいこ)

- ・子どもたちの学びの保障をサポートするための学校教育活動を支援します。
- ・主に、算数の授業において、児童の学習を支援します。

スクールサポートスタッフ 木暮 八重子(こぐれ・やえこ)

- ・新型コロナウイルス感染症対策において、主に、子どもたちの支援や学校事務作業支援ほか校舎内の清掃、消毒作業を行います。 上記2名、どうぞよろしくお願いいたします。

